足助地区まちづくりNEWS　かわら版　第1号

発行：豊田市
令和8年9月

こどもの教育環境とまちづくりを考えるための住民説明会を開催しました

足助地区の現状や豊田市が目指すこれからの教育環境を踏まえ、学校再編やまちづくりについて考えるための住民説明会を開催しました。

当日は214名の方にお越しいただきましたが、都合がつかなった方もいると思いますので、「足助地区まちづくりNEWS かわら版」として、どのような説明があったのか、概要をお知らせします。

◆住民説明会の概要

開催日時	2026年7月18日(土) 10:30-11:40、13:30-14:40 午前・午後の二部制（内容は同じ）
会場	足助交流館　飯盛座
内容	• 現状と課題 • 目指す教育の姿 • 学校再編の方向性 • 今後の進め方 • 質疑応答

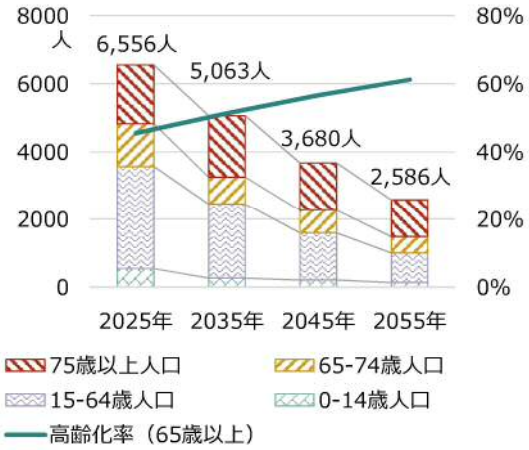


①人口減少・少子高齢化が加速しています

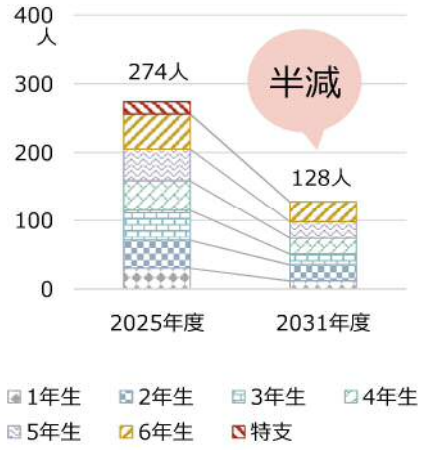
山村地域では人口減少と少子高齢化が進行しています。足助地区においても、10年前には8,000人を超えていた人口が、今年4月に6,500人を割りました。

また、こどもの数は、昨年度時点で274人でしたが、6年後には半減することが想定されています。

◆現在の人口と将来予測



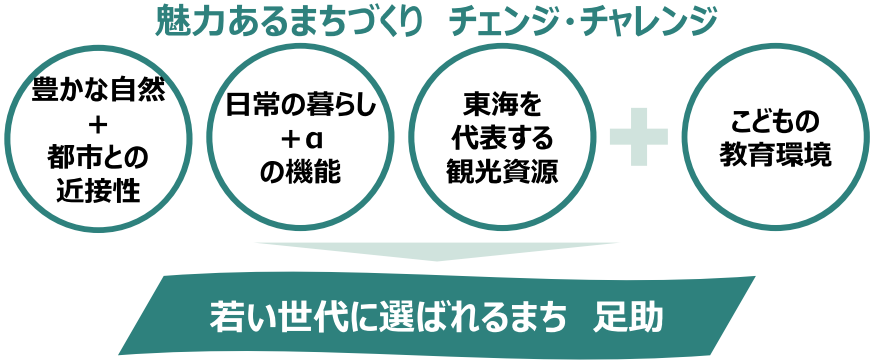
◆現在の児童数と将来予測



②こどもの教育環境とまちづくりを両輪で考えていくことで若い世代に選ばれるまちを目指します

将来に渡るこどもの数の減少の見通しもあり、これからのこどもの教育環境を考えていく必要があります。同様に、人口の減少を食い止めるためには、子育て世代に住んでもらう、住み続けてもらうことが重要です。

足助地区がもともと持っている強みを生かしながら、こどもの教育環境とまちづくりを両輪で考えていくことで、若い世代に選ばれるまちを目指します。



③こどもの教育環境の向上を中心に据えた学校再編の検討を進めます

少子化、人口減少に伴う課題を踏まえ、山村地域における学校再編に当たっては、こどもの教育環境の向上を中心に据えるとともに、将来を担うこどもたちが安心して住み続けられる地域社会の維持・発展も視野に入れながら、持続可能な地域づくりにつなげるよう、基本となる考え方を整理した「山村地域の学校再編基本方針」を令和８年７月に策定しました。この考え方にもとづいて、足助地区において学校再編を検討します。

◆山村地域の学校再編基本方針

1. 連続性、系統性を生かした先進的な教育の推進
2. 地域とのつながりや郷土への愛着を育む山村ならではの学びの創出
3. まちづくりとの一体的な検討による地域の活性化

④こどもの教育環境の検討と並行して「まちづくりの総合的な取組」を進めます

足助地区では、教育環境の検討と並行して、「こどもが地域と共に育つ環境づくり」「生活利便性の向上」「定住・創業の支援強化」を柱としたまちづくりの総合的な取組を進めます。

◆まちづくりの総合的な取組

こどもが地域とともに育つ環境づくり	こどもも大人も一緒に成長し、住み続けたくなる環境をつくる
生活利便性の向上	暮らしに必要なサービスをまとめ直し、生活を便利にする次の世代が住みたくなるような、新しい魅力をもつ地域の拠点をつくる
定住・創業の支援強化	一時的な来訪から定着・定住へつなげる

⑤こどもの教育環境とまちづくりに関する今後について

◆教育環境について

今後、学校再編の方針（再編の内容やスケジュール等）をまとめた「足助地区学校再編構想」を市が策定する予定です。

学校再編構想は、住民説明会、住民ワークショップなどを行い、様々な場でご意見を伺いながらまとめます。

また、かわら版（広報紙）を作成し、進捗状況をお伝えします。

◆まちづくりについて

住民ワークショップなどでのご意見も取り入れながら、「若い世代に選ばれるまち」の実現に向けて、まちづくりに関する総合的な取組を進めます。

今後も足助地区まちづくりNEWSかわら版や市ホームページで検討状況をお伝えしていきます

住民説明会の資料や、質疑応答の内容は、豊田市のホームページに掲載されています。
また、今後も足助地区まちづくりNEWSとして、かわら版を発行して検討状況をお伝えしていきます。

■教育環境について
教育政策課　0565-34-6658
kyouiku@city.toyota.aichi.jp

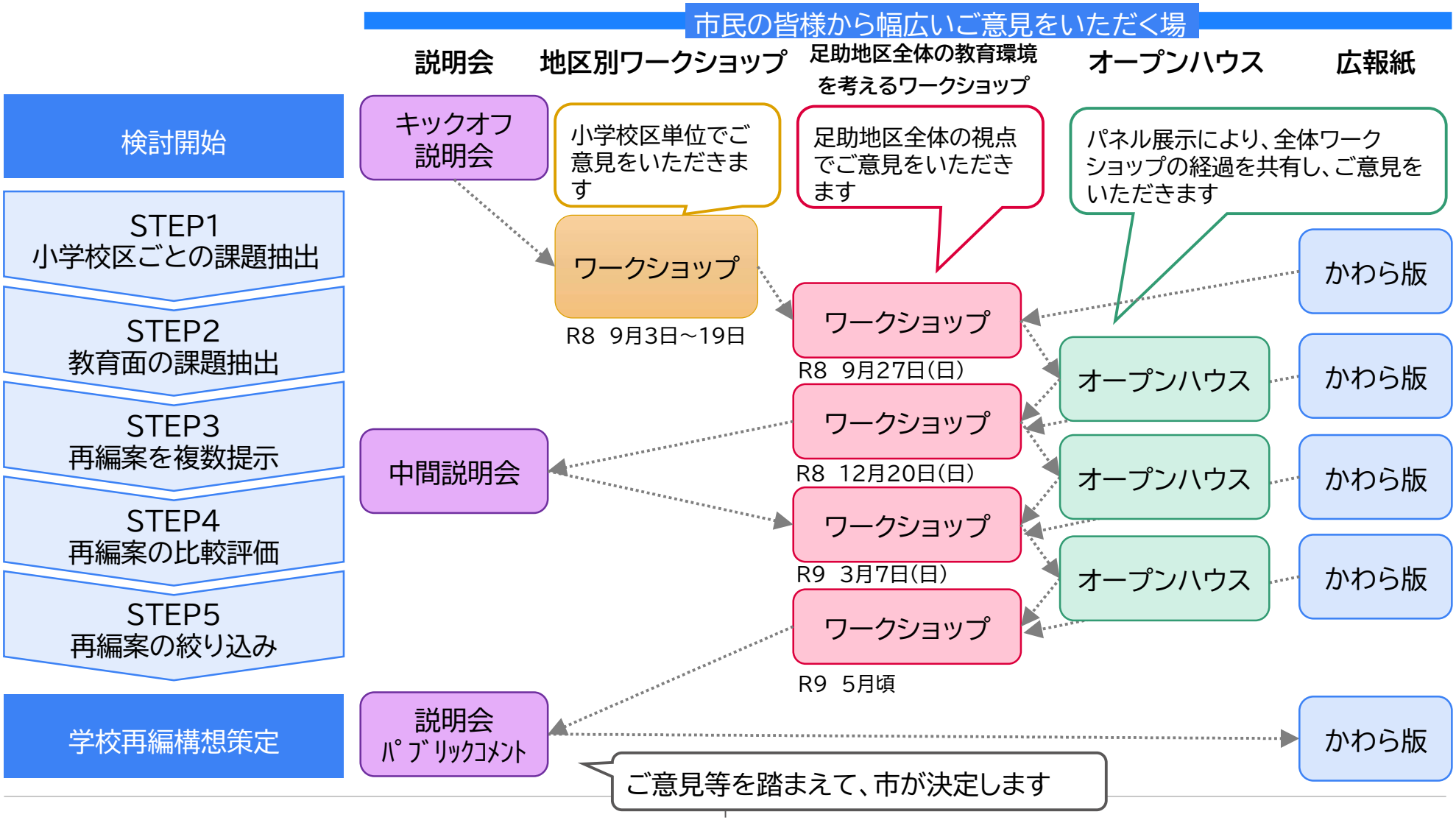
■まちづくりについて
足助支所　0565-62-0601
asuke-shisho@city.toyota.aichi.jp

https://www.city.toyota.aichi.jp/shisei/jichiku/1008649/1013511/1078658.html

学校再編構想策定の進め方

※日程等は予定であり、進捗状況によっては、変更となる場合があります。

- 地区ごとにご意見をいただく場と、足助地区全体の視点でご意見をいただく場を設けます。
- いただいたご意見をもとに、市が学校再編構想案を作成します。



市民の皆様から幅広い意見をいただく場 の概要

ワークショップとは

- 地区別ワークショップは小学校区ごとにお住まいの皆様を対象に実施します。全体ワークショップは自治区・小学校PTA・こども園関係者の皆様により実施します。
- 参加者の皆様で、グループごとに、テーマに沿って、ご発言いただきます。また、各グループで出た内容はとりまとめし、共有します。



▲ ワークショップのイメージ

オープンハウスとは

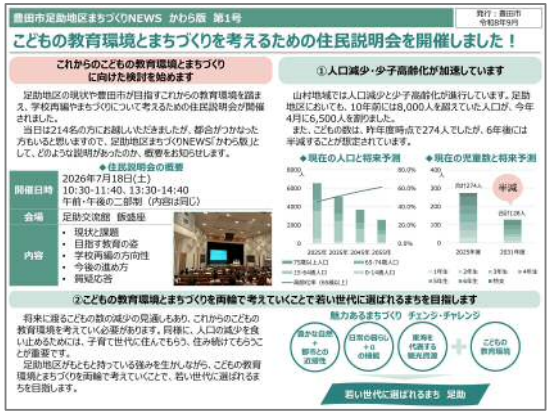
- 多くの皆様に見ていただける足助支所や交流館等の施設で、パネルを利用し、全体ワークショップで挙げられた意見や、検討された再編案などの内容を紹介します。
- ご意見箱を設け、全体ワークショップで検討されている内容についてご意見をいただき、次回のワークショップで共有します。



▲ オープンハウスのイメージ

かわら版とは

- 足助地区の各世帯に配布するチラシ「豊田市足助地区まちづくりNEWS かわら版」で、全体ワークショップで挙げられた意見や、検討された再編案などの内容を紹介します。
- メールやWebにより、足助地区の皆様から、全体ワークショップで検討されている内容についてご意見をいただきます。


豊田市足助地区まちづくりNEWS かわら版 第1号

こどもの教育環境とまちづくりを考えるための住民説明会を開催しました！

これからのこどもの教育環境とまちづくりに向けた検討を始めます

①人口減少・少子高齢化が加速しています

②こどもの教育環境とまちづくりを両輪で考えていくことで若い世代に選ばれるまちを目指します

▲ かわら版のイメージ

計画の主な指標

指　標	現状値(2024)	目指す方向
自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合	①小学生　87.2% ②中学生　84.1%	↑
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う児童生徒の割合	①小学生　73.6% ②中学生　74.7%	↑
授業が楽しいと思う児童生徒の割合	①小学生　76.1% ②中学生　72.6%	↑
読書が好きな児童生徒の割合	①小学生　74.1% ②中学生　66.5%	↑
先生が自分のよいところを認めてくれていると思う児童生徒の割合	①小学生　91.2% ②中学生　91.7%	↑
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できると思う児童生徒の割合	①小学生　73.4% ②中学生　69.2%	↑
学校における重大事故件数	0件	→
学校は勉強や運動がしやすく、安全で過ごしやすいところだと思うと回答した児童生徒の割合	①小学生　90.8% ②中学生　90.2%	↑
自身の職務について忙しいと感じている教員の割合	83.0%	↓
自身の授業に対し「ほぼ全員の児童生徒が理解している」「8割程度の児童生徒が理解している」と思う教員の割合	44.1%	↑
自主的に学んでいることがある市民の割合	74.4%	↑
図書館利用者数 (中央図書館・こども図書室の来館者数＋中央図書館ホームページと電子図書館のログイン数)	1,775,999件	↑
住んでいる地域を「大好き」「好き」と思う児童生徒の割合	①小学生　92.4% ②中学生　84.4%	↑
地域の大人が勉強やスポーツを教えてくれたり、自分たちを見守ってくれたりしていると感じる児童生徒の割合	①小学生　83.7% ②中学生　68.2%	↑
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童生徒の割合	①小学生　83.3% ②中学生　78.6%	↑
学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている児童生徒の割合	①小学生　83.6% ②中学生　86.1%	↑



豊田市教育委員会　教育政策課　2026年3月発行

概要版

第5次 豊田市教育行政計画

2026-2030



基本理念

つながりの中で、誰もが学び合いながら、自分らしく豊かな人生を切り拓く

めざす学びの姿



自分を大切にし、他者を尊重する



誰もが安心して生涯にわたり楽しく学び続ける



豊田市の多様な魅力を分かち合い、つながりの中で学び、地域とともに育つ



自ら考え行動し、共に新しい未来を切り拓く

豊田市教育委員会

Uni-voice

～つながりの中で、誰もが学び合いながら、自分らしく豊かな人生を切り拓く～

豊田市の教育

豊田市は、誰もが自分らしく豊かな人生を切り拓いていけるように、
「こども起点」と「つながり合う」という視点を大切にしながら、
教育に関する取組を着実に推進していきます。

学校における重点プロジェクト

こども一人ひとりが自分の気付きや思いを持ち、人や社会とつながりながら、
夢中になって仲間と学ぶ中で「自ら考え判断する力」を育むため、
地域とともに「探究的な学び」を進めていきます。

計画の８つの取組の方向性

基本方針

- 生き抜く力の育成
- 誰一人取り残さない教育の推進
- 地域とともにある学校の実現
- 教育DXの推進
- 安全・安心な環境づくり

1 自他を尊重する心を育む教育の推進

- 道徳教育・人権教育の充実
- いじめの防止等のための総合的な取組

など

2 学ぶ楽しさを知り自らの可能性を広げる学校教育の推進

- 「主体的・対話的で深い学び」の推進
- ICT機器や教育データの利活用の推進

など

3 誰もが自分らしく学べる教育環境の確保

- ユニバーサルデザインを取り入れた授業づくりの推進
- 就学・進学に対する経済的な支援の充実

など

4 安全・安心で新しい時代の学びを実現する環境整備

- 新しい時代の学びを支える環境整備
- 学校施設等における脱炭素化の推進

など

5 こどもに向き合い寄り添える学校環境づくり

- 教職員の働き方改革の推進
- 自律的に学び続ける教職員の育成・支援

6 生涯にわたり学び続ける機会の充実

- 学校の「学びの拠点」への転換
- 誰もが学び続けられる仕組みづくりと場づくり

など

7 郷土愛を育み地域ぐるみで支える学びの推進

- 豊田市の特徴を生かした教育プログラムの更なる充実
- 地域ぐるみの教育の推進にむけた体制の充実

など

8 新たな社会の創り手となる資質・能力を育む機会の創出

- 特色ある学校づくりの推進
- 若者の社会参加の促進

など

紹介動画も見れますよ!

豊田市HP